

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成19年4月に、小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果をふまえ、今後の本校としての取り組みについてご説明します。なお、今回の調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。

1. 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域に於ける児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校などが全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施設の成果と課題を把握し、その改善を図る。

2. 調査の内容

調査は現6学年の児童を対象に、国語と算数の2教科、各教科問題Aと問題Bの2種類で実施。

- ★問題A…「身につけておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容」「実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能」を中心とした問題。
- ★問題B…「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力」「様々な課題解決のための構想を立てて、実践し、評価・改善する力」にかかわる内容を中心とした問題。

3. 本校の教科学習状況調査結果

◇…よい状況と考えられる内容 ◆…指導・改善が必要と考えられる内容

<国語>

A問題 「話す・聞く」「言語事項」について学力に課題があります。
B問題 情報を収集してそれをまとめていく等の力は平均に達しています。

【話す・聞くこと】 ◇話の内容についての工夫した聞き方（メモをとるなど）を理解する

◆相手の話の要点を聞き取る

【書くこと】

◆相手に分かりやすい説明文を書く

【読むこと】

◇説明文の段落の内容をとらえる

◆物語の登場人物の心情について読み取る

【言語事項】

◇漢字を読む ◆漢字を書く

<算数>

A問題 「表現・処理」（繰り上がりのある加法、小数の乗法）については、おおむね理解しています。
B問題 「表図」「文章」から問題の意図を導き出し、答えを出す力に課題があります。

【数と計算】

◇小数の乗法 ◆小数の除法

◆小数の乗法（特に文章題）について

◆整数と小数の除法の計算をすること

【量と測定】

◇四角形の面積を求めること

◆円の面積を求めること

【図形】

◆四角形の定義や性質を理解し、作図すること

【数量関係】

◆四角形の縦・横の長さの関係を表にまとめること

2. 質問紙調査結果

- ◇県平均に比べ、早寝早起きの習慣が身につけている児童の割合が多い。
- ◇家や図書館で本を読む時間は、全国平均より高い。
- ◇家で自分が興味あることを調べたり、勉強したりしているという割合が多い。
- ◇「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童の割合は多い。
- ◇動植物の飼育・栽培に関心をもっている児童の割合が高い。
- ◆朝食を摂らずに登校する児童が多い。
- ◆身の回りのことや、学習の準備などを自分からすすんでできない児童が多い。
- ◆外に出て体を動かすことが少ない。
- ◆自分の行動に自信がもてないと思う児童が多い。
- ◆テレビを視聴する時間は少ないが、ゲーム・インターネットの時間が多くなっている。
- ◆携帯電話での通話やメールをする児童の割合が、全国平均よりも高い。
- ◆自分が住んでいる地域に対する関心が、全国平均と比べて低い。
- ◆体を動かすことが苦手と答える児童が多い。

3. 今後の取り組み

- スピーチの時間などを継続的に行った結果、スピーチをするときに大切なことについて理解している、という結果が出ています。今後も同様の取り組みを継続していきます。
- 国語力（読解力）の向上のため、現行の読書タイムを継続していくとともに、国語の基本的なスキル（読み・書き等）の充実を図るために、系統的に取り組んでいきます。
- 算数では、図形の求積問題や文章問題などを中心に、基礎基本の学力定着のための指導の、さらなる充実を図っていきます。
- 児童一人ひとりの学習の実態に応じた指導の工夫（少人数指導）を考えていきます。
- 生活意識調査では、生き物の飼育栽培に対する関心が、全国・県の平均値よりも高いという結果が出ています。本校の特色の一つである、山元農園での活動の成果だと考えられます。これからも、さらに生き物や生命を大切にすることができる児童の育成に、活用していけたらと考えております。